



第57回卒業証書授与式

3月14日(火)、第57回卒業証書授与式が行われ、198名の卒業生が巣立っていきました。在校生代表や多くの保護者、来賓が見守る中、一人ひとり名前を呼ばれた卒業生が緊張のうちに晴れやかな表情で立派に卒業証書を受け取りました。

卒業生は、何事も一生懸命に取り組み、見ている人たちに大きな感動を与えてくれました。がんばることで人に感動を与えてくれました。式でも「卒業生在校生による合唱を力強い声で

歌い、聞く人たちの感動を誘い、厳粛な中にも温かい雰囲気の中で卒業式を終えることができました。

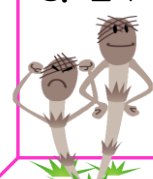
送る会

会場の都合で、卒業式に在校生全員が出席できないため、10日(火)には、

生徒会役員、生徒全員による送る会が行われました。生徒会中心とした有志が卒業生の映像をつくり、寸劇も入れて



堀江中
校舎だより
ほりえ
え
笑顔
理想
顔
3月号
H29
3. 24



発行者
中西利彦

3年間を振り返りました。また、13日(月)には本校同窓会会長川面氏に来ていただき、同窓会の入会式を行いました。



送る会



同窓会会長

修了式を迎えて

学年末を迎え、この一年を振り返りかえっているとします。1学期の始業式に、皆さんに「ナイル川と蟻」の話をしました。アフリカのナイル川はとても広い川幅ですが、そのナイル川を小さなナイル川が渡るためには球体を作り、公平に息継ぎの機会を得ながら渡るといいう話でした。自分だけが良ければよいというのではなく、仲間を力を含わせなければ目的が達成できないというところで、この一年、たがいに仲間と協力をしながら素晴らしい集団をつくってほしいという話をしました。今振り返ってみて、自分ばかりを強調しませんでしたか？仲間を踏み台にして、そのままになっていませんか？中学生は、人生の基礎基本の時期。生活面でも学習面でも基礎基本を学ぶ時期です。規則正しい生活習慣をつける「学力をつける」「学校は集団生活の場だからコミュニケーションの出来る人」ということを常に言ってきました。仲間の影響を受けやすい時期



編集後記

平成28年度の修了式を迎えることができました。保護者、地域のみなさまのご理解とご協力のおかげと心から感謝申し上げます。来年度は、(卒業式の式辞にも入れました)

「夢なき者に理想なし、
理想なき者に計画なし、
計画なき者に実行なし、
実行なき者に成功なし。
故に、夢なき者に成功なし。」

(吉田松陰のことばです。)

という言葉にあるように、夢を持ち、誇りを持って、計画をたて、理想に近づくように笑顔で前進してください。

PTA新聞、今年も受賞！

毎日新聞社「努力賞」

PTA新聞「堀中だより」が毎日

新聞社・毎日小学

生新聞・全国新聞

教育研究協議会主

催・第66回全国小

中学校・PTA新聞コンクールで努力賞をいた

だき、賞状が送られてきました。広報委員の方々を中心に作成された「堀中だより」が今年も評価

されました。



ですので、良い仲間たちとともに、今後も規則正しい生活を送り、挨拶ができ、人とのつながりを大切にすることを養ってください。そのためには、春休み中に、新たな学年に向け準備をしてください。